

FUJIFILM NEWS

FUJIFILM
株主の皆様へ
Vol. 85
September 2012

富士フイルムホールディングス株式会社
株主名簿管理人 連絡先
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉2丁目8番4号
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

トピックス

チャレンジ する化粧品。

FUJIFILM だけができる、FUJIFILM にしかできない
サイエンスに裏付けされた化粧品



平成19年9月、独自技術に発想を得た「機能性化粧品」として登場した「ASTALIFT(アスタリフト)」。平成20年1月に通販に加え、店舗販売を開始してからは、お客様との接触ポイントが急速に拡大し、現在では取扱店舗が7,000店を突破。国内エイジングケアブランドでトップ10入りを果たしています。

今年7月には、肌ストレスの悩みを解決する新スキンケアシリーズとして、「Lunamer(ルナメア)」が加わりました。さらに「アスタリフト」発売6年目を迎える9月には、エイジングケア機能を強化し、「チャレンジする化粧品」として装いも新たに、11品目11品種の新生「アスタリフト」に進化します。

富士フイルムの化粧品事業は、サプリメントと合わせ、ライフサイエンス事業の売上1,000億円規模(平成30年度)への拡大を牽引するため、グローバル展開においてもさらなる飛躍を目指しています。

「ルナメア」のチャレンジ

- 肌ストレスという、エイジングケアとは異なる肌悩みを解決
- 独自の光解析技術で「肌の見え方と光の関係」を解明し、「にごりのない肌」へ
- 独自のナノプロテクト設計で、安定的にナノ化した「クリアナノビタミンE」を配合

「アスタリフト」のチャレンジ

- コエンザイムQ10の約1,000倍の美肌パワーを持つ「アスタキサンチン」に加え、高い美容パワーの「リコピン」を世界最小クラスにナノ化し、全商品に配合
- 独自成分「ナノリコピン」「ナノアスタキサンチン」と、それらをサポートする新成分「高浸透型レスベラトロール」を配合した美容液「エッセンス デスティニー」誕生
- “透明感・輝く肌”をイメージしたパッケージに刷新。カートリッジタイプのレフィル容器で、環境負荷を低減

トピックス

「写真教室」を通して、株主の皆様が写真の楽しさを体感



去る6月6日、今年度から正式に導入した株主優待の施策の1つとして、株主様限定の写真教室を当社本社において開催しました。当社株式保有期間が3年以上、保有株式数が2,000株以上の株主様を対象に募集し、抽選で選ばれた17名の方にご参加いただきました。当日は、当社の一眼レフを凌駕する高画質を実現したコンパクトデジタルカメラ「FUJIFILM X100」の商品化に携われたプロカメラマンの内田ユキオ氏を講師に、「X100」や「FUJIFILM X-Pro1」など高級機種Xシリーズの魅力や撮影方法についての講義、「X100」を使用した撮影実習や、参加者一人ひとりの作品への講評などを行いました。撮影実習で参加者の皆さんは、生花や小物など静物の撮影に挑戦。写真歴が長い方に対しては、初心者の方にも、内田講師がそれぞれ適切なアドバイスを行い、どの参加者の作品も素晴らしい仕上がりになりました。写真教室終了後に行ったアンケートでは、すべての参加者から「満足した」との回答をいただき、再度の開催を期待するお声も多数いただきました。今後も、写真を撮る楽しさを体感していただけるよう、今回のような写真教室を企画していく予定です。

POST CARD

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
平成24年度第1四半期(平成24年4月1日～6月30日)の当社の連結売上高は5,183億円、営業利益は209億円、当社株主帰属四半期純利益は25億円となりました。当四半期は欧州の景気悪化による需要の減少や、為替の円高などのマイナス影響を受け前年同期比で減収減益ではあったものの、イメージング ソリューション部門では増益・黒字化し、ドキュメント ソリューション部門では増収増益を達成しました。

事業環境は不透明な状況が続きますが、重点事業分野や新興国を中心とするグローバル展開に経営資源を集中投入し、中期経営計画「VISION80」を強力に推進していきます。第2四半期以降は、フラットパネルディスプレイ材料事業のシェア拡大、高機能材料の新製品導入、メディカルシステム事業の新製品の拡販、医薬品事業での販売強化などに取り組み、当初予想値を据え置いた通期の連結業績予想、売上高2兆3,700億円、営業利益1,400億円、当社株主帰属当期純利益650億円の達成を目指します。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平成24年9月

代表取締役会長・CEO

古森重隆

代表取締役社長・COO

中嶋成博

平成24年度第1四半期連結決算のポイント

売上高 **5,183** 億円(前年同期比2.2%減)
(為替影響額を除いた前年同期比は0.1%減)

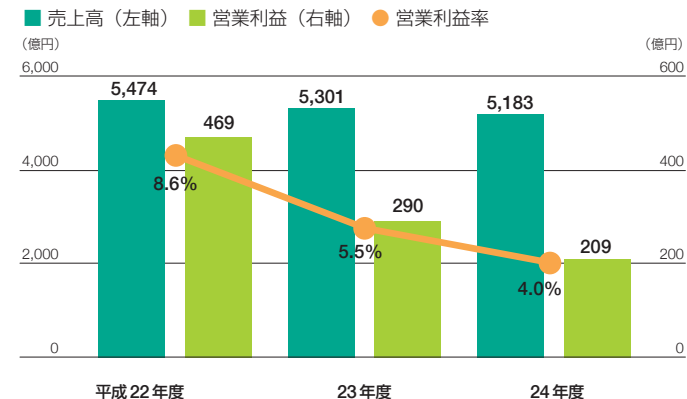
- ➕ 新商品投入や新興国などへの拡販施策を強化
- ➖ 欧州における需要減、為替の円高によるマイナス影響

営業利益 **209** 億円(前年同期比27.8%減)

- ➖ 為替の円高によるマイナス影響、売上高の減少

当社株主帰属四半期純利益 **25** 億円(前年同期比82.7%減)

第1四半期連結業績の推移



年間配当予想

第2四半期末：	20円
期末：	20円
合計	40円